

6 5 7 号
東部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県東部家畜保健衛生所

西部地域畜産経営技術推進指導協議会
富山県西部家畜保健衛生所

2024. 2. 10

令和6年能登半島地震からの復興に向けて ... 1
令和6年能登半島地震による 県内畜産農場の被害状況 2
地震発生時の家畜の飼養管理及び 停電等の対応 2
「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ (農林水産関係)」が公表されました 3
自然災害等のリスクに事前に備えよう ... 3
国内と隣国における高病原性鳥インフル エンザ (HPAI) 発生情報 4

海外からの違法畜産物の持ち込みが最多に!! ... 4
韓国 釜山の野生いのししで アフリカ豚熱感染が急拡大 5
令和5年度富山県畜産関係業績・ 成果発表会開催 5
防疫情報 6
第7回和牛甲子園に中央農業高校が出場! ... 6
お知らせ 6

令和6年能登半島地震からの復興に向けて



地震による草地の地割れ

令和6年1月1日午後4時10分に、最大震度7の地震が石川県能登地方を襲い、本県でも観測史上最大となる震度5強という多くの皆様が経験したことのない揺れに見舞われました。この地震により県内でも多数の被害が確認されており、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

県では、地震発生当初から設置されていた「富山県災害対策本部」を1月26日に「令和6年能登半島地震富山県復旧・復興本部」へと切り替え、全庁を挙げて、被災者に寄り添ったきめ細やかな支援を行うこととしています。一日も早い復旧・復興に向けて、北陸地域一丸となって頑張りましょう。

(東部家保環境課 水木課長)

令和6年能登半島地震による県内畜産農場の被害状況

今回の地震では、県内の畜産農場においても被害が発生し、畜舎・付帯施設の損壊や敷地内斜面の崩壊、付近の道路の寸断などが確認されました。これら被災された農場では、補修や応急対応等の復旧措置が行われています。

この他、県の畜産研究所では、配水管の破損が認められ、断水が10日程度続きました。

(東部家保環境課 水木課長)

県内畜産農場の主な被害状況

畜種	主な被害内容
養豚	畜舎の基礎、床、天井の梁に亀裂等
	堆肥舎の擁壁の一部崩落及び亀裂
養鶏	敷地内斜面の崩落、堆肥舎の地盤沈下及び壁面の亀裂
	付帯施設の敷地内斜面の崩落、地盤沈下



道路の破損



畜舎基礎部分の亀裂



飼育房の亀裂

地震発生時の家畜の飼養管理及び停電等の対応

地震発生時には、道路交通網の寸断に伴う飼料運搬の停滞や停電による畜舎や浄化槽等の機能停止・低下などが生じる恐れがあります。長期間にわたって配合飼料の不足が懸念される際は、各畜種の特性を踏まえつつ、家畜を可能な限り延命させることが重要です。また、停電が続く場合、ウインドウレス畜舎では給水、給餌、換気等について人力での管理が必要となり、汚水浄化処理施設では、汚泥の腐敗や堆積による曝気装置等の故障や排水の水質悪化に注意が必要です。

長期的な影響が懸念される際は、ライフラインの復旧まで、以下を参考に家畜の飼養管理を実施ください。

1 飼料給餌を制限する飼養管理方法

1) 肉用牛

育成～肥育前期：粗飼料給与のみで生命維持できますが、急激な飼料変更は、第一胃内の微生物に影響を与え、他疾病につながる可能性があります。このため、徐々に粗飼料割合を増やすことが重要です。

肥育中期～後期：特に急激な飼料の変更とならないように配慮が必要です。

繁殖：可能な場合は放牧を検討し、子牛は母牛とできるだけ長期間一緒に飼養してください。

2) 乳用牛

飼料配達に支障が生じている場合は、集乳も制限されていると考えられるため、配合飼料の給与を段階的に中止又は最小限に抑えてください。

3) 豚・鶏

給餌の回数や量を減らし(30kg以上の豚で通常量の5割程度。採卵鶏で6割程度。)、可能な限り飼料の節約が重要です。給水が確保できていれば、成豚・成鶏の場合、1週間程度絶食でも生存可能です。

2 ウインドウレス畜舎における停電対策

自家発電装置が設置されている場合は、間欠の運転で可能な限り長持ちさせ、電気・水道等の回復を待つことが必要です。しかし、停電が長期間に及ぶ場合は、以下の点に注意して管理を行ってください。

1) 給水・給餌対策

設備を動かす回数・時間を減らすことを検討します。河川水等の利用時は、適正に消毒を行います。

2) 換気対策

ウインドウレス畜舎での換気の目的は、温度管理、有毒ガスの排出・酸素の供給で、通常の3分の1程度の換気扇が動いていれば家畜の生存に問題ないとされています。

3 浄化処理施設における停電対策

1) 曝気槽への負荷軽減

通常時にも増して、固液分離を徹底して、固形分の流入量をできるだけ抑制することが重要です。

2) 排出水の消毒処理

適正な浄化処理が困難となる場合は、消毒を念入りに行うことが重要となります。

(東部家保環境課 水木課長)

「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ（農林水産関係）」 が公表されました

今回の地震により被災された農林漁業者の方々が一日も早い生業の再建に取り組めるよう、農林水産省では、「被災者の生活と生業支援のためのパッケージ（農林水産関係）」として取りまとめ、対策のポイントや被災された農林漁業者向け支援策を令和6年1月25日に公表しました。本パッケージでは、「支援の内容」と「問合せ先」が整理されています。

また、県でも被災者の支援措置に関する特設ページを設けています。詳細は、右記のQRコードをご覧ください。



(東部家保環境課 水木課長)

自然災害等のリスクに事前に備えよう

我が国では、近年、地震や台風・大雪など多くの自然災害が発生し、畜産経営に甚大な被害をもたらしています。そのため、畜産経営者は、我が身は我が身で守るという意味のもと、被災時に応急対応を行うために事前の準備しておくことは極めて重要です。

以下のツール等を活用して、この機会に是非、災害時の備えについて検討や整理を実施ください。

1 「畜産経営者のための自然災害危機管理マニュアル」

自然災害に強い畜産経営実現に資するため、一般財団法人 全日本畜産経営者協会では、令和2年より2年間、全国の畜産経営者に対して、アンケート調査やセミナー、被災した地域に所在する畜産経営者を参集したワークショップなどを実施し、得られた知見をもとに「畜産経営者のための自然災害危機管理マニュアル」を取りまとめ、同協会ホームページで公開しています(右QRコード参照)。

畜産経営におけるリスクマネジメント、災害への備え、災害時・災害後の対応等に向けた取組みの一助として、ご活用ください。



2 「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」及び「農業版事業継続計画書」

事業継続計画書(Business Continuity Planning: BCP)とは、災害などの緊急事態に遭遇した場合に被害を最小限に抑えつつ、重要な業務を継続し早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

BCPの特徴は、単なる防災対策と異なり、目的を「事業の継続」と明確に置いて、具体的な行動指針を示していることにあります。

農林水産省では、農業者が自ら自然災害等への備えに取組みやすいものとなるよう「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」と「農業版事業継続計画書(農業版BCP)」のフォーマットを作成・公表しています(右下QRコード参照)。

農業経営の安定化や強靱化を目指すために、BCPを策定し、自然災害や家畜伝染病など不測の事態に備えましょう。

1) 「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」

(1) リスクマネジメント編

平時からのリスクに対する備えや自然災害への直前の備えに関する事項についてチェックできます。

(2) 事業継続編

被災後の早期復旧・事業再開の観点から対策しておくべき事項(ヒト、モノ、カネ/セーフティネット、情報等)についてチェックできます。

2) 「農業版事業継続計画書(農業版BCP)」

上記1)(2)のチェックリスト「事業継続編」を記載することで簡便に「農業版BCP」の策定が可能となっています。

(東部家保環境課 水木課長)



国内と隣国における高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)発生情報

今シーズンは11月25日に佐賀県の養鶏場で初めてHPAIが確認されて以降、家きんでは2月6日までに8県8事例(7事例目:1月27日山口県防府市、8事例目:2月6日香川県三豊市)の発生が確認されており、約70万羽が殺処分されました。また、韓国では12月3日を初発として30事例(1月30日現在)、台湾では7月以降継続的に家きんでHPAIの発生が確認されています。

渡り鳥は、秋から冬に日本等の温暖な地域へ秋の渡りを、冬から春に再び繁殖地のシベリアへ春の渡りをを行います。日本では例年、2月頃から春の渡りが始まり、主にカムチャッカ半島・千島列島経由、サハリン・北海道経由、日本海横断、朝鮮半島経由の4ルートで移動します(右図)。渡りの時期は鳥種によって異なり、4か月ほど差があります。全ての渡り鳥が繁殖地の北へ移動を終える5月頃まで継続した警戒が必要です。

HPAIの警戒シーズンは10～5月とされ、シーズンの半分以上が過ぎました。しかし、依然として広い地域の野鳥からHPAIウイルスが検出されていることから、注意が必要です。

養鶏農家の皆様は、引き続き、鶏舎ごとの長靴交換、防鳥ネット・鶏舎壁面などの点検・補修、人と車両の出入り制限と消毒、鶏舎や農場周辺の定期的な消石灰散布による消毒等、侵入防止対策の徹底をお願いします。

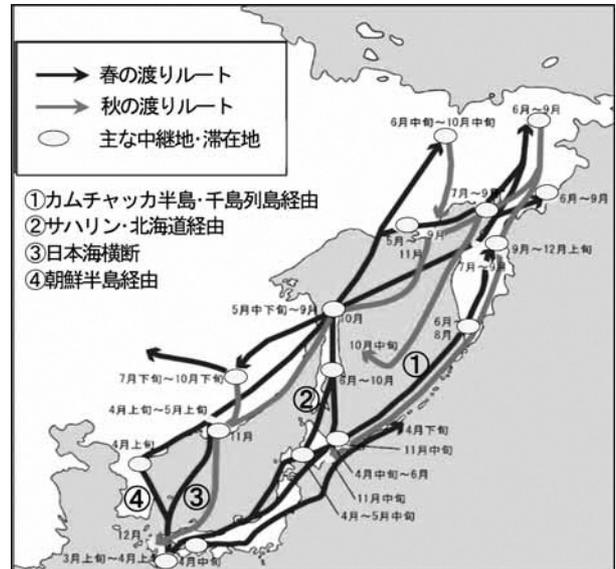


図 ヒドリガモの渡りと時期(出典:環境省)

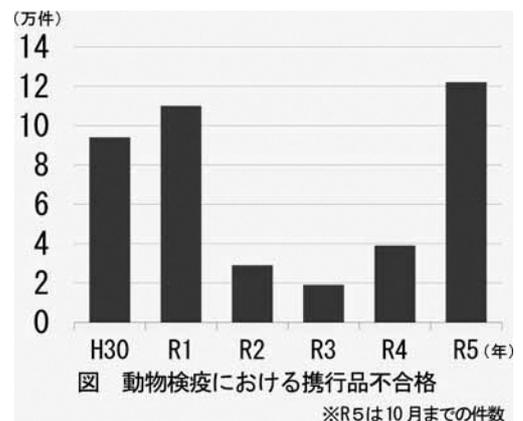
(東部家保防疫課 古林獣医師)

海外からの違法畜産物の持ち込みが最多に!!

家畜の伝染病が海外から日本に持ち込まれると、日本の畜産業に甚大な被害をもたらす可能性があります。そのため、家畜伝染病予防法では、農林水産省が指定する動物の肉や肉製品などの畜産物を国内に持ち込む場合には動物検疫所の検査を義務づけています。また、同法では病性や伝播力が強い悪性の家畜伝染病(口蹄疫、豚熱、アフリカ豚熱及び高病原性鳥インフルエンザ等)について、その地域の発生状況や防疫措置体制等により、地域ごとに動物種の区分を行い、輸入禁止物を定めています。

動物検疫所のまとめによると、令和5年は1月から10月までとなりますが、海外からの旅行者が携行品として国内に持ち込んだ違法畜産物は12万2534件と過去最多となりました(下図)。この要因として、令和4年10月11日以降、訪日個人旅行が解禁され、訪日外国人数が新型コロナウイルス流行前の水準に回復しつつあることが挙げられます。観光局調べでは、令和5年1月から9月に来日した外国人のうち、アジア地域の割合は79%であり、令和5年の不正な持ち込みの国別割合は、韓国16.3%、中国15.6%、フィリピン8.4%、ベトナム7.5%が上位を占めています。アジア地域では、口蹄疫、アフリカ豚熱等が断続的に発生しており、これらの国から偶蹄類(牛、豚、山羊等)の肉及び肉製品等の畜産物を国内に持ち込むことを禁止しています。

2月の旧正月には、さらなる訪日客の増加が見込まれています。動物検疫をすり抜け、病原体が国内に侵入する可能性もあることから、日頃から飼養衛生管理基準を遵守し、自農場へ家畜伝染病の侵入を防止することが重要です。また、近年、外国人を雇用する畜産農家が増加しています。外国人従業員が携行品や国際郵便で不正な畜産物を国内へ持ち込まないように改めて周知していただきますようお願いいたします。



(東部家保防疫課 中村主任)

韓国 釜山の野生いのししでアフリカ豚熱感染が急拡大

昨年12月に初めて韓国の釜山で確認されたアフリカ豚熱 (ASF) 感染いのししが、1月末に10例目となりました。特に1月18日の2例目以降はすべて、日本への航路があるフェリーふ頭の裏山で相次いで発見されており、我が国への侵入リスクがかつてないほど高まっています。感染確認されたフェリーふ頭の裏山周囲は市街地で、野生いのしし間での感染ではなく、人や物を介した感染の可能性が疑われています。

旧正月を迎え、海外との間で人や物の動きが活発となっており、改めて農場への病原体侵入防止対策の徹底をお願いします。

(東部家保防疫課 先名係長)

令和5年度富山県畜産関係業績・成果発表会開催

2月2日、富山県農協会館にて、令和5年度富山県畜産関係業績・成果発表会が開催されました。この発表会は、事業推進、調査研究等の業績・成果について発表・討議を行い、本県の畜産経営の改善向上に資することを目的として毎年開催されているもので、家畜保健衛生所、農業技術課広域普及指導センター及び農林水産総合技術センター畜産研究所が一堂に会して行われます。今年度は国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門から人獣共通感染症研究領域 腸管病原菌グループ グループ長補佐の小林創太先生を助言者としてお招きし、計12題の発表について活発に討議されました。

家畜保健衛生所 (○：第65回東海・北陸ブロック家畜保健衛生業績発表会選出演題)

	演題名	家保	発表者
○1	JGAP認証取得を通じた農業高校の衛生管理システム構築への取り組み	東部	田知 慶久
2	市が主体的に取り組んだ地域防疫演習	西部	宮本 剛志
3	養牛農家に対する飼養衛生管理基準の見える化への取り組み	東部	中村 吉史宏
○4	家きん飼養農場で取り組んだカラス対策とその効果	西部	小林 歩
5	ホルスタイン種育成牛に認められた <i>Streptococcus ruminantium</i> が分離された咽頭内腫瘍の一例	東部	山口 香菜
6	ホルスタイン種子牛にみられた先天性肝線維症の一例	西部	石原 未希
7	肉用子牛で多発した牛クロストリジウム・パーフリンゲンス感染症	東部	竹中 悠人
○8	Processing Fluidを用いた豚熱及び豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルス検査の検討	東部	先名 雅実
9	県内野生いのししにおける豚熱感染状況	東部	藤井 晃太郎
10	1採卵鶏農場のウインドウレス鶏舎において発生した鶏コクシジウム病	西部	西村 加奈

農業技術課広域普及指導センター

1	酪農経営における第三者経営承継 ～法人化及び円滑な承継に向けた取り組み支援～	二川 秀直
---	--	-------

農林水産総合技術センター畜産研究所

1	酒粕の搾乳牛への給与試験	竹元 正士
---	--------------	-------

<演題番号1> 県内唯一の畜産系学科のあるA高校で、GAP認証取得を目標として取り組みを実施した。毎年、生徒が変わるなど学校特有の課題を加味して、関係機関で支援を行った結果、令和5年11月に畜産農場で北陸初のJGAP認証を取得した。この取り組みで学校環境に即した衛生管理システムが構築されたとともに、生徒のコミュニケーション向上や自主的活動の促進につながった。

<演題番号4> 高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) 重点監視期間中の11～1月に家きん飼養農場でカラス調査を実施し、飛来原因や場所に応じて、対策を行った。中でも、最も多くのカラスが確認された堆肥舎の対策は重要と考えられた。また、複数の対策を組合せることが効果持続には有効であった。結果、カラスの観測数は減少し、HPAI発生リスク低減につながったと考えられた。

<演題番号8> 子豚去勢時に摘出・廃棄される睪丸組織から滲出液 (Processing Fluid: PF) を回収して、豚熱と豚繁殖・呼吸障害症候群の検査を試みた。量が少ない場合は、凍結融解による回収も併用した。結果、従来の検査材料である血清等と高い相関が認められ、PFは検査材料として有用と考えられた。本材料を用いることにより、採材者の労力軽減やコスト低減が期待できる。

(東部家保環境課 水木課長)

防疫情報

全国の主な家畜伝染病の発生

高病原性鳥インフルエンザ（法定伝染病）

（2月7日現在）

事例	発生日	発生場所	経営形態	飼養羽数	備考
7	1月27日	山口県防府市	採卵鶏等	23羽	H5N1
8	2月6日	香川県三豊市	採卵鶏	約7万羽	
	関連農場	同上	採卵鶏	約4万羽	

県内の主な家畜伝染性疾病の発生

病名	畜種	発生日	戸数	頭羽数	備考
牛ロタウイルス病と牛コロナウイルス病	牛	12月27日	1	1	
	牛	1月5日	1	1	
牛コロナウイルス病	牛	12月27日	1	1	
牛パストツレラ症	牛	1月4日	1	1	
牛マンヘミア症	牛	1月4日	1	2	
牛大腸菌症	牛	1月11日	1	1	
豚丹毒（届出伝染病）	豚	1月15日	1	1	と畜場発見
		1月17日	1	2	と畜場発見

県内における野生いのししの豚熱 PCR 陽性事例（令和6年1月以降）

（2月7日現在）

	発見状態	発見又は捕獲日	発見又は捕獲場所	成長区分	性別
1	捕獲	1月11日	高岡市福岡町加茂地内	成獣	雄
2	捕獲	1月11日	高岡市福岡町加茂地内	成獣	雄
3	捕獲	1月6日	氷見市平沢地内	成獣	雌
4	捕獲	1月13日	高岡市福岡町加茂地内	成獣	雄

【参考】令和元年7月30日以降の野性いのしし豚熱検査結果（単位：頭）

区分	陽性	陰性	計
死亡いのしし	23	3	26
捕獲いのしし	81	2,490	2,571
合計	104	2,493	2,597

第7回和牛甲子園に中央農業高校が出場！

1月18～19日に、東京都中央卸売市場食肉市場等で開催された「第7回和牛甲子園」に県立中央農業高校（中央農高）が出場されました。本大会では、全国の農業高校生が集まり、日頃の和牛飼育の取り組みを発表し、その成果として枝肉の肉質が競われます。

和牛飼育体験発表会では、中央農高から「JGAP 認証のその先」と題し、衛生情報 655号で紹介の JGAP 認証取得までの取り組みが発表されました。また、和牛枝肉共励会では、全国から 59 頭が出品され、A-5 等級率が 9 割に迫るハイレベルな戦いとなりました。中央農高は、28カ月齢の去勢牛を出品し、枝肉重量 405kg で格付けは A-5、BMS No.11 と過去最高の素晴らしい成績で、「とやま和牛酒粕育ち」として高値で販売されました。今大会で得た経験を活かし、中央農高の更なる活躍を期待しています。（東部家保環境課 田知主任）



出場された生徒の皆さん

☆お知らせ☆

催事等	期日	場所
令和5年度富山県農業振興賞授賞式	2月14日	富山県庁4階大ホール
畜産女性研修会	2月14日	ゆーとりあ越中
北陸三県和牛子牛市場	2月15日	北陸三県家畜市場（金沢市）
家畜衛生技術検討会	2月21日（東部）、29日（西部）	各家畜保健衛生所

発行所 富山県東部家畜保健衛生所
〒939-3536 富山市水橋金尾新4-6
編集者 水木 亮史（富山県東部家畜保健衛生所）

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1687/
電話 (076) 479-1106 FAX (076) 479-1140